

I 事務事業基本情報

総合計画統括CD	02 06 01 08	重点政策分類	生きがい	所管部課	都市住宅課
事務事業名	防災公園だて歴史の杜整備事業			担当課長名	三品 淳
			事業CD	作成者名	佐野 真三
			08	担当歴	平成 28 年度から
総合計画分類	C D	名 称			
政策	02	福祉・市民生活			
施策	06	高齢者福祉の充実			
基本事業	01	高齢者の生きがいづくりの推進			
事業年度	開始年度	H20		終了(予定)年度	H27
H27会計区分	1	一般会計			
予算科目	款	8 土木費			
	項	4 都市計画費			
	目	3 公園緑化費			
新継区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	経費区分	<input checked="" type="checkbox"/> 政策	<input type="checkbox"/> 補助・単独区分
				<input type="checkbox"/> 投資	<input type="checkbox"/> 単独
				<input type="checkbox"/> その他	
予算書上の事務事業名	防災公園だて歴史の杜整備事業				
根拠法令・個別計画等	事業実施の根拠となる法令、条例、規則、要綱及び個別計画を全て記載				
	伊達市地域防災計画				
	第4次地震防災緊急五箇年計画				

II 事務事業概要

対象	誰を、または何を対象とした事務事業なのかを具体的に記載		執行形態						
	市民全体		事務事業の執行方法をチェック <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> 市民と協働 (委託・交付先等:)						
目的	当該事務事業が何をねらいとし、対象をどのような状態にしたいのか。また、どのような成果を目指しているのかを具体的に記載								
	体育館・プール及びその他防災施設を整備することにより、市民のレクリエーション活動に寄与するとともに、当市における防災拠点施設の確保を図る。								
	成果指標	成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績見込)	29年度(目標)	30年度(目標値)
		「目的」がどの程度達成されたか(成果)を測定できる適切な指標(数値等)を最低1以上設定して記載							
① 検討委員として参加した人数		人	-	-	-	-			
② 事業進捗率	%	95.2	97.0	100.0	-				
③									
成果指標の考え方・計算根拠等	①市内検討委員については、市職員13名(H21実績) ②進捗率や事業費ベースで計算								
総合計画の成果指標に係る活動成果	重点政策(食・教育・生きがい・環境)については、総合計画「Ⅲ-2重点政策」(P16~P23)で定めた成果指標について記載								
手段	上記目的を達成するために、どのような方法で事務事業を実施したのかを具体的に記載								
	H19年度: 総合運動公園検討会議 8回 先進地視察 1回 H20年度: 伊達市総合体育館等検討会議の開催 6回 先進地視察 2回 ~21年度 総合体育館等建設市内検討委員会の開催 5回 パブリックコメント実施								
	活動実績	活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績見込)	29年度(目標)	30年度(目標値)
		「手段」として提供した行政サービスや活動の実績を指標(数値等)に表して記載							
1 会議の開催回数		回	-	-	-	-			
2 契約件数(工事・委託)	件	8	9	3	-				
3									
活動指標の考え方・計算根拠等	①市内検討会議の回数(H21実績) ②工事発注件数、委託契約件数を記載								
事務事業の現状と課題	事業の現状と事業を進めていくうえで課題となっていた事項を記載								
	既存プールの解体、飲料用耐震性貯水槽の設置が補助対象となったため、事業完了年度を2年延伸した。平成27年度の事業完了。								
改善点	上記の現状と課題に対し、当該年度の重点取組み事項、設定した目標を具体的に記載								
	防災公園としての施設整備は完了した。								
	上記の重点的取組み事項、設定した目標に対する改善内容及び検討(実施)中の改善内容及び当該年度を記載								
	改善点	(平成27又は28年度) <input checked="" type="checkbox"/> 既に改善済	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input type="checkbox"/> その他						
(平成28又は29年度) <input checked="" type="checkbox"/> 改善を検討中(又は実施中)		<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input type="checkbox"/> その他							

平成 27 年度実施事業		総合計画統括CD		02	06	01	08	重点政策分類	生きがい	所管部課	都市住宅課
事務事業名	防災公園だて歴史の杜整備事業							CD		担当課長名	三品 淳
								08		作成者名	佐野 真三

Ⅲ 投入経費 (input)

投入経費 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
直接事業費 (A)	929,142千円	71,582千円	104,181千円			
国・道支出金	449,464千円	32,619千円	44,712千円			
地方債	451,500千円	35,700千円	56,400千円			
その他特財						
一般財源	28,178千円	3,263千円	3,069千円			
参考人件費 (B)	5,481千円	5,821千円	5,794千円			
一般職員	5,481千円	5,821千円	5,794千円			
一人当たり年間平均給与	5,481千円	5,821千円	5,794千円	5,749千円	5,749千円	5,749千円
投入人員	1.00人	1.00人	1.00人			
嘱託職員						
一人当たり年間平均賃金	2,365千円	2,428千円	2,550千円	2,611千円	2,611千円	2,611千円
投入人員						
臨時職員						
一人当たり年間平均賃金						
投入人員						
投入経費 C=(A+B)	934,623千円	77,403千円	109,975千円			
人件費比率 D=(B/C)	0.6%	7.5%	5.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

Ⅳ 一次評価

評価の視点	評価	判断理由 (左記の評価を選択した理由を具体的に記載)
観点別評価	目的妥当性	<p>今後も市が主体または関与して事務事業を行っていくことは妥当か？</p> <input type="checkbox"/> 法律等で義務付けられている <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性①	<p>結果が出ているか？</p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標とする結果が出ている <input type="checkbox"/> 少し結果が出ている <input type="checkbox"/> 思うように結果が出ない
	有効性②	<p>成果を向上させることはできるか？</p> <input checked="" type="checkbox"/> 大きく向上できる <input type="checkbox"/> 向上できる <input type="checkbox"/> 向上は難しい
	効率性	<p>妥当な経費で事業が執行されているか？または、成果を落とさずに投入経費を削減することはできるか？</p> <input type="checkbox"/> 経費削減は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 経費削減は難しい
	公平性	<p>事業が一部受益者に偏っていないか？受益と負担のバランスは妥当か？</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある

今後の方向性	方向性の判断理由 (左記の方向性を選択した理由を具体的に記載)
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了	本事業は、市民のレクリエーションの場や地域防災拠点の整備を目的とすることから、早期完成を目指し、事業を進めてきた。防災公園だて歴史の杜整備事業は、平成27年度で完了した。

担当課長コメント	事業の進捗状況及び今後の展望等について記載
	有珠山噴火や最近の異常気象から、防災に対する必要性が問われているところであり、災害時に市民が安全で安心できるための施設が歴史の杜内に完成したことは喜ばしいことである。

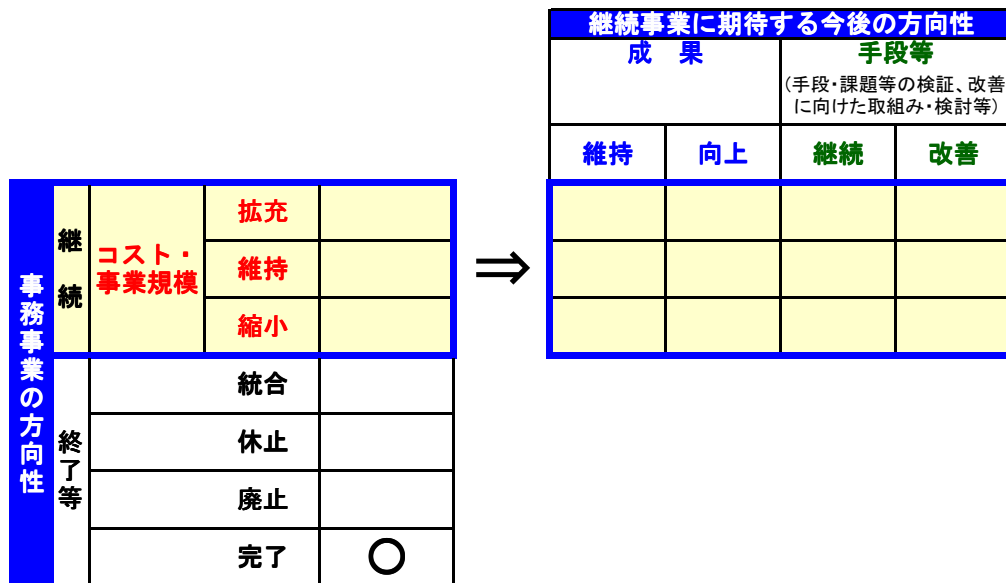
◆ 事務事業評価会議の検討内容

平成 27 年度実施事業		総合計画統括CD 02 06 01 08		重点政策分類	生きがい	所管部課	都市住宅課
事務事業名	防災公園だて歴史の杜整備事業			事業CD	08	担当課長名	三品 淳
						作成者名	佐野 真三

1 二次評価

評価項目	評価の視点			評価
	評価の凡例	評価項目の求める水準を達成している。		
		大きく向上できる	○	
		向上を期待できる	△	
観点別再評価	目的妥当性	今後も市が主体、または関与して実施することが妥当である。		—
	有効性①	成果が出ている。または、事務事業の目的が達成されている。		○
	有効性②	今後、成果を向上することができる。または、成果を向上させる余地がある。		—
		評価の凡例	大きく向上できる	
			向上を期待できる	△
効率性	妥当な経費で事業を執行している。		○	
公平性	受益と負担のバランスは適当である。		○	
事業ラング評価	総合計画上の視点	総合計画における当該事業の位置付けが明確であり、かつ本計画の施策の推進に貢献度が高いと認められる。		○
	事業の必要性の視点	既に明らかとなっている課題や、今後予想される課題の解消に向けて、当該事業の必要性が真に認められる。		○
	事業効果の検証の視点	事業の効果が客観的に検証されている。または、事業の効果が現れていない場合であっても、その原因を分析し、有効な方策が検討または実行されている。		○

2 二次評価に基づき期待する今後の事務事業の方向性



3 その他（特記事項・評価に関する補足事項等）

市民のレクリエーション施設及び地域防災拠点の整備という目的の防災公園整備が完了したことから、「事業完了」といたしました。引き続き、市民が安心安全に交流できる場として、また災害時は避難、救護活動の場として維持していくことを期待します。